

きみつ市議会だより

CONTENTS

- 2 第3回定例会のあらまし
- 4 議案等の審議結果
- 5 一般質問Q&A
(9議員が質問)
- 9 委員会の焦点
- 10 決算審査特別委員会の概要



第3回定例会

発行／君津市議会
編集／きみつ市議会だより編集委員会



おかげさまで150号を迎えました！



君津市
マスコットキャラクター
きみひん

昭和60年7月に発行を開始したきみつ市議会だよりは、今回で150号を迎えます。その節目として、これまで37年の歩みを振り返ります。

第1号は、現在よりも大きいタブロイド判の紙面で、白黒刷りの4面でした。その後、ページ数の増加・カラー印刷など、よりよい議会広報誌を目指し、改善を行ってきました。今後も、皆様によりわかりやすく、親しみやすい市議会だよりを目指してまいります。

第3回 定例会 の あらまし

令和4年度一般会計補正予算など

議案20件、陳情2件を議決

第3回定例会は、8月31日から9月22日までの23日間の会期で開かれました。

今定例会では、令和4年度君津市一般会計補正予算（第5号）など市長提出の14議案、令和3年度一般会計等の歳入歳出決算の認定の6件、陳情2件を審議し、慎重審議の結果、陳情1件は趣旨採択、そのほかは、原案のとおり可決・認定・採択されました。

一般質問では、9人が登壇し、市政運営等について、活発な議論が展開されました。

本会議討論



●認定第1号

令和3年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定について

反対

新火葬場建設に関して、市民に十分な説明がなく、利用料金の値上げが予定されていることから反対する。

賛成

きみさらず聖苑の整備運営事業については令和4年12月1日の木更津市新火葬場の供用開始に向け、広域連携による火葬業務を進めていくことは、将来にわたって、持続可能な行財政運営を図るためにも有効な方策であると理解する。

●認定第2号

令和3年度君津市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

反対

国民健康保険税滞納者への短期被保険者証、資格証明書の発行が続けられており、反対する。

賛成

国保税を滞納している方に対する短期被保険者証、資格証明書の発行については、負担の公平性を確保する観点から、適切な運用がなされているものと理解する。また、令和3年度は、新たな取組として、スマートフォンによる決済において納付方法の拡充を図るなど、収納率向上に向けた取組が強化されたものと考ええる。

●認定第5号

令和3年度君津市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

反対

3年に1度の制度見直しのたびに介護保険料、サービス内容が改定され、負担が増えるため反対する。

賛成

地域包括支援センターを中心として相談・支援体制の充実が図られており、地域包括ケアシステムの構築が着々と進んでいるものと理解する。今後も、適切なサービスを提供するために介護給付費の適正化などに努めるなど、円滑な事業運営を望む。

●認定第6号

令和3年度君津市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

反対

制度そのものに反対する。

賛成

後期高齢者医療制度は、高齢者の医療を安定的に支えていくために、必要不可欠な社会保障制度であると理解する。

※議案等の審議結果については、4ページに掲載しています。



新たな議員が誕生

去る10月23日に執行された市議会議員補欠選挙において、鶴岡一成氏、齋藤利生氏が当選されました。(右から届出順)



氏名 鶴岡 一成

住所 笹479番地

生年月日 昭和46年12月10日



氏名 齋藤 利生

住所 中野2丁目12番40号202

生年月日 昭和53年8月14日

新型コロナウイルス

ワクチン接種対策など

一般会計補正予算

今定例会では、君津市一般会計補正予算(第5号、第6号)に係る議案の審査を行いました。これらの補正予算は国の補助金などを活用して、新型コロナウイルスワクチン接種対策などを主なものとして計上したものです。

議案第12号 補正予算(第5号)

主な事業の紹介

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業

900万円

住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり10万円を給付する事業で、令和4年度に新たに非課税になった世帯が当初の見込みより増加したため増額します。

障害福祉サービス費支給事業

383万4千円

国の補助金を活用し、障害福祉関係データベース構築に向けた事務処理システム改修を実施します。

有害獣捕獲等促進事業ほか

102万1千円

※寄附額 100万円

寄附金を活用し、小動物用の捕獲檻等を購入します。



観光推進事業

335万5千円

県の補助金を活用して、市内各園のトイレ改修費用等を補助し、観光地の魅力向上を図ります。

議案第14号 補正予算(第6号)

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

1,976万1千円

新型コロナウイルスワクチン接種対策事業

4億7,673万7千円

新型コロナウイルス感染症のオミクロン株対応ワクチン接種等の実施体制を確保し、医療機関での個別接種、市の施設での集団接種並びに75歳以上の高齢者の交通支援を実施します。

消防活動備品等購入費

110万1千円

※寄附額 100万円

寄附金を活用し、排水用エンジンポンプ等の消防活動備品等を購入します。

市民文化ホール改修事業

1,377万7千円

国の補助金を活用し、君津市民文化ホールのトイレ洋式化の改修を行うとともに、部材の価格高騰に伴う空調機等改修工費を増額します。





出席議員全員が賛成した議案、陳情（全会一致）

◆市長提出議案

議案番号	件名	議案番号	件名
議案第1号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第9号	市道路線の認定について
議案第2号	君津市保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第10号	市道路線の認定について
議案第3号	市道路線の認定について	議案第11号	市道路線の認定について
議案第4号	市道路線の認定について	議案第12号	令和4年度君津市一般会計補正予算(第5号)
議案第5号	市道路線の認定について	議案第13号	令和4年度君津市介護保険特別会計補正予算(第1号)
議案第6号	市道路線の認定について	議案第14号	令和4年度君津市一般会計補正予算(第6号)
議案第7号	市道路線の認定について	認定第3号	令和3年度君津市聖地公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第8号	市道路線の認定について	認定第4号	令和3年度君津市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について

◆陳情

陳情番号	件名
陳情第7号	ナラ枯れ病防除策の推進を求める陳情書 ※
陳情第8号	君津台の大関・新関の環境を守り、地球温暖化防止策の推進を願う陳情書

※陳情第7号は趣旨採択について諮りました。

賛否の分かれた議案

◆市長提出議案

議案番号	件名	議決結果	令和新政			創政会			きみつ未来		公明党		かがやき君津		諸派								
			三浦章	宇野晋平	村上幸人	須永和良	加藤喜代美	小倉靖幸	下田劍吾	保坂好一	高橋明	小林喜久男	石上壘	松本裕次郎	磯貝清	高橋健治	佐藤葉子	野上慎治	奈良輪政五	船田兼司	橋本礼子	三浦道雄	鈴木高大
認定第1号	令和3年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
認定第2号	令和3年度君津市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定第5号	令和3年度君津市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定第6号	令和3年度君津市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

※議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わっていません。

表の見方 ○：賛成 ●：反対



市政を問う!

一般質問

Q&A

第3回定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問の大綱については下記のとおりです（通告順）
○マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています。
なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。

質問時間を60分から45分に短縮して一般質問を行いました。

松本 裕次郎 議員

P.6

きみつ未来

- 「経済と環境が調和したまち」について
- 高齢者への移動支援の取組について
- 防災対策について
- 健康増進について
- 安全に安心して生活できる学校について

須永 和良 議員

P.7

令和新政

- 市内産業廃棄物最終処分場について
- 地籍調査事業の推進について
- 学校給食費の無償化に向けて
- アスベストに関する規制強化について
- 男性トイレへの汚物入れ設置について

下田 剣吾 議員

P.8

創政会

- コロナで苦しむ市内飲食店の支援について
- 安全で活気ある公民館にするために
- 交通弱者への対策について
- 子育て支援について
- 包括連携協定について
- 戦没者の追悼のために

保坂 好一 議員

P.6

創政会

- 職員の労務管理について
- 防災について
- 拠点整備事業について
- 住宅政策について

三浦 道雄 議員

P.7

諸派・日本共産党

- 市長の政治姿勢について
- 福祉・医療・教育行政について
- 環境行政について

鈴木 高大 議員

P.8

諸派・須恵会

- 君津市地域防災計画について

高橋 健治 議員

P.6

公明党

- 市民の生命を守る設備について
- 安心して暮らせる環境保全について
- 地域振興について
- 行政手続における利便性向上について

野上 慎治 議員

P.7

公明党

- 地域の活性化について
- 学校教育の充実について

船田 兼司 議員

P.8

かがやき君津

- 市政運営について
- 君津市総合計画について
- 安心安全なまちづくりについて



きみつ未来
松本 裕次郎 議員

市内経済の好循環に向けた取組

Q 市内のゴルフ場2か所に設置予定のふるさと納税自動販売機について、現在の状況と今後の課題について伺う。

A 県外の自治体では寄附額が大幅に増加した実績があるので、都心からアクセスのよい本市でも大きな効果が期待されるとともに、ゴルフ場の利用者数の増加やリピーターの獲得につながり、地域経済の活性化にも大きく寄与するものだと考えている。自動販売機からの寄附申込状況について随時確認し、他のゴルフ場や観光施設等での導入について検討していく。

小糸川右岸遊歩道の整備

Q 小糸川右岸遊歩道の緩衝材のはがれや樹木の根上がりにより、危険な状態に思えるが、今後の整備方針について伺う。

A 年数の経過に伴い、弾性舗装のはがれや樹木の根上がりがある箇所については、部分的に補修を行い、維持管理に努めている。今後、より計画的に補修を進めるため、弾性舗装の材質や耐久性、整備方法など先進事例について調査、研究していく。

特別教室のエアコン設置

Q 使用頻度の高い理科室や音楽室など、特別教室へのエアコンは未設置となっており、健康被害が懸念されるが、設置にかかる検討状況について伺う。

A 近年の猛暑は、一層厳しさを増していることから、特別教室についても熱中症対策の必要性を認識している。今後、早期の整備に向け、国の交付金などを活用し、使用頻度の高い教室を優先しつつ、整備に計画的に取り組んでいく。



創政会
保坂 好一 議員

河川内の樹木伐採

Q 小糸川の富久橋付近の樹木伐採についてどのような対応しているのか伺う。

A 伐採等については、河川管理者である千葉県に、富久橋を含め竹木等の繁茂が著しい箇所や土砂が堆積している箇所について要望している。

住生活基本計画・賃貸住宅供給促進計画

Q 住宅確保要配慮者の住居安定の確保が住宅政策の基本理念の一つとして位置づけられているが、住生活の安定の確保及び向上の促進に関する本市の施策方針を伺う。

A 住生活基本計画については、住宅政策を総合的に進める上での最上位計画として事業者・住民等に対し将来目標と実現方法を示すものであり、本計画と併せて、低所得者、高齢者等の住宅確保要配慮者が円滑に入居できるよう住宅政策と福祉政策の一体的な対応による住宅セーフティネット機能の強化を図る必要がある。現在、住宅セーフティネット構築について検討している関係部局と連携し、住宅確保要配慮者の賃貸住宅への円滑な入居の促進等、課題解決に向けて取り組む。

居住支援協議会の設立

Q 民間賃貸住宅への円滑な入居の促進等、住宅確保要配慮者への支援を行う居住支援協議会の設立について伺う。

A 居住支援協議会は、住宅セーフティネット法に基づき、住宅確保要配慮者に対し、民間住宅への円滑な入居の促進等に関する必要な措置について協議するもので、行政をはじめ、宅地建物取引業者や社会福祉協議会等、関係者と密接な連携を図るために必要なものである。設立準備会を立ち上げ、速やかに住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給促進を図るよう努める。



公明党
高橋 健治 議員

緊急時AEDの利活用

Q 利用者の多いコンビニエンスストアなど、中小の店舗に関して、AED設置の働きかけができないか伺う。

A コンビニエンスストアについては、その営業形態から、昼夜を問わず使用でき、緊急時に対応しやすく有効であると考えられているが、今のところ設置に対する助成金等もなく、維持管理に経費がかかることから、他市の状況などを調査研究していく。

スクラップヤード

Q 県の条例ができるまでの間、スクラップヤードに対して、市としてどのような対応をしていくのか伺う。

A 定期的なパトロールによって、金属スクラップヤードにおける周辺環境への影響等について監視している。また、周辺住民等から苦情があれば、速やかに現地確認を行った上で、事業者に対し、周辺地域に十分配慮をするとともに、環境に影響を及ぼさないよう指導しており、今後も継続していく。

市役所における総合窓口

Q おくやみ窓口コーナーに限れば、あらかじめ予約をいただくというシステムで市民の方のニーズに十分対応できると考えるが見解を伺う。

A 現在、こうした手続に関する専用の窓口は設置していないが、案内については、おくやみハンドブックを活用し、フロアマネジャーが話を伺い、担当課に案内している。他自治体の視察等により判明した様々な課題を踏まえて、おくやみ窓口を含めた総合窓口について、市民の利便性のさらなる向上に向けて検討する。



令和新政
須永 和良 議員

学校給食費の恒久的な無償化に向けて

Q 県と協力して学校給食費の恒久的な無償化をするべきだと考えるが、本市の対応と見通しを伺う。

A 県は多子世帯において、給食費無償化に要する経費の2分の1を補助すると公表した。本市としても県の補助制度を活用し、多子世帯に対する学校給食費無償化の実施に取り組んでいく。

Q 来年度以降も学校給食費の無償化を継続するということでしょうか。

A 令和5年度以降も県の補助制度を活用し、継続して給食費の無償化に向けて取り組んでいきたい。

男性トイレにもサニタリーボックス設置

Q 近年、前立腺がんや膀胱がんになる男性の方が増えている。手術等をして尿漏れパッド等を使う男性も増えているので、市役所の男性用トイレにも汚物入れを設置すべきと提案してきたが、進捗よく伺う。

A 市役所本庁舎において、市民の皆様の利用が多い1階の男性用トイレ及び多目的トイレに、本年8月からサニタリーボックスを設置した。

Q 本庁舎以外の公共施設にも設置を広げる予定はあるか伺う。

A 今後、設置する公共施設を増やしていく。

地籍調査事業の迅速で計画的な推進

Q 地籍調査事業は市民に大きなメリットがある。個人で境界確定をすれば、数十万円の費用がかかる。ところで、無料で行政が間に入り境界確定してくれる。推進すべき事業だと考えるが、来年度以降の見通しを伺う。

A 現在、隣接した工区を2か所同時に進めているが、今後も優先順位を見極めながら複数か所を進め、当初計画期間を目標に完了できるように努めていく。



諸派・日本共産党
三浦 道雄 議員

市長の政治姿勢

Q ロシアのウクライナ侵略、オスプレイの動向等への対応を伺う。

A ロシアのウクライナに対する軍事侵攻は断じて許されることではない。アメリカ空軍のオスプレイが不具合を理由に当面上待機となったことを受け、千葉県は防衛省北関東防衛局に対し、地元自治体へ迅速かつ丁寧の説明することなどを申し入れた。本市も説明を受けられるよう千葉県に要請した。

高い国民健康保険税の引下げ

Q 公費の1兆円の負担増が実現した場合、君津4市等を含む国保税への影響はどうか伺う。

A 本市の令和4年度国民健康保険税は、給与収入420万円、40歳代の夫婦と子ども2人の4人のモデル世帯で試算すると約44万円で、君津4市の負担水準は、ほぼ同一となっている。一方で、全国知事会が要望した1兆円の公費負担増があった場合の国民健康保険加入者世帯への効果額は、モデル世帯あたり約16万円で、均等割及び平等割に相当する額とほぼ同額が軽減となり、税額は協会けんぽ並みになる。

Q 君津4市で1兆円公費負担増を求める懇談会や協議会を実施してみてもどうか伺う。

A 千葉県国民健康保険団体連合会 君津支部が設置されており、今後、このような場を活用して意見交換等を考えている。

環境行政

Q 新井総合施設株式会社の動向について伺う。

A 第3の2処分場については、現在遮水シートの設置工事や地下水の集排水管設置工事等が行われている。第3の2の1処分場は本年秋季ごろ、また第3期増設事業全体としては令和6年1月頃に竣工する見込みと推察している。



公明党
野上 慎治 議員

助け合いのまち君津を

Q 各地区の拠点づくりを進めるためには、地域をよく知る行政センターが中心となり、地域の方々と協力して、地域の人材、資源、産業などに着目した実行計画の策定が必要と考えるが、見解を伺う。

A 今後の拠点づくりにおける地域運営のあり方については、行政センターや公民館が中心となつて、住民とともに地域課題を共有し、特色あるまちづくりを行う市民協働の新たな仕組みを確立するとともに、行政と連携して地域課題の解決に主体的に取り組む団体への支援を行ってきたい。

道の駅の早急な改善を

Q 道の駅周辺にある観光スポットのポテンシャルが十分生かされているとは言えない。活性化のための具体的な計画について伺う。

A 道の駅等において君津市商工・観光アクションプランに掲げる各種事業によって、滞在時間の増加を図るとともに、道の駅周辺の観光スポットを周遊してもらえるような案内をするなど、観光情報の発信を工夫し、さらなる地域の活性化を図つてまいりたい。

Q 来訪者の方々におもてなしの心が伝わっているかという点、なかなか厳しい状況であり、意識改革が必要ではないか。君津商工会議所が開設している、きみつの未来活力支援センターへの相談など、外部の力を活用することが重要だと考えるが、見解を伺う。

A 道の駅については、今後は指定管理者との協議の中で支援機関などを紹介するなど、おもてなし体制の強化に努めていきたい。

学校への「地域コーディネーター」の配置を

Q 学校支援ボランティアを活用した学校の活性化と地域の活性化のため、地域コーディネーターの配置が必要と考えるが、見解を伺う。

A 青少年健全育成団体や学校運営協議会などを活用しつつ、地域コーディネーターについて、先進事例を調査研究していきたい。



創政会
下田 剣吾 議員

戦争で亡くなられたご家族の軍歴の発行

Q 戦争から長い時間が過ぎたこと、また体験者の心の傷から、どのようなことがあったのか家族や親戚でも知らないことが多い。軍歴証明は入隊からどの場所に行ったのかわかることができる。この制度を知らせることが家族の苦勞に思いをはせ、戦争の悲惨さを後世に伝え平和への祈りにつながると考えるが見解を伺う。

A 取得のためには旧陸軍は都道府県に、旧海軍は厚生労働省に申請が必要。ご遺族の気持ちに寄り添い、申請方法の周知に努めたい。

バス停が遠い周南地区や清和地区でも乗合交通を

Q スクールバスを使った乗合交通の実証運行が小糸地区で始まった。一方で過疎が進み、バス停が遠い住宅も多い清和地区や周南地区でも困っている市民が残っていることも容易に想像がつく。工夫をして、両地区の交通弱者も乗せるべきと考えるが、制度上大きな課題があるのか見解を伺う。

A 運行範囲の拡大をするためには、国との事前協議や事業者等との調整、市公共交通会議での了承などの諸手続きが必要。

コロナで苦しむお店に、もう一度支援が必要

Q コロナの初期に実施した飲食店への支援から時間が経過した。感染対策に取り組む飲食店に新たな支援が必要と考える。また、高齢化などから対策ができず困っている店も少なくない。そのような店を支援すべきだが、見解を伺う。

A 今年度、キャッシュレス決済導入時の経費補助を始めた。高齢や電子機器に不慣れで対応できない事業者に対しては、今後予定しているキャッシュレス決済ポイント還元キャンペーンで説明会や個別相談を実施する。感染対策についても今一度周知し、県や商工会議所と連携して、個別のサポートにつなげていく。



諸派・須恵会
鈴木 高大 議員

学校避難所の対策

Q 小糸小学校のグラウンド出入口が狭小であり、災害時等を想定した引き渡し訓練において車両の通行に支障をきたしている。実際の災害時には周辺道路が訓練時以上に麻痺することが想定されるが、対応について見解を伺う。

A 小糸小学校は、統合により学区が広くなり、災害時等に自家用車で迎えに来る保護者が他の学校と比較して多くなることが想定される。また、避難所としても自家用車での避難受入れも必要なことからグラウンドに車両がスムーズに出入りできるよう検討する。

災害発生時等の情報伝達

Q 災害発生時等に関わる情報について、予防啓発情報を含め、一元的に広報し減災を推進することが重要と考えるが、その情報発信体制について伺う。

A 自然災害における情報発信については、地域防災計画及び職員初動マニュアルにおいて秘書広報班と情報整理班で対応することを定めている。また、その他の個別事案については各担当部署が情報発信を行う。

避難所となる学校への井戸の設置

Q 君津市には日本有数の自噴井戸があり、平常時には花壇の水やりや防災訓練等、子どもたちにも身近な存在となるよう水源確保のために校内敷地への井戸の設置は有効と考えるが見解を伺う。

A 水源確保のための井戸の利用は有効な取組であると認識しており、本市では5か所の井戸を防災井戸として管理している。民間の既存井戸を災害時に活用している自治体もあることから、同様の取組を検討する。



かがやき君津
船田 兼司 議員

市街地のリノベーション立地適正化計画

Q 都市機能を増進する誘導施設、誘導する区域について伺う。

A 誘導施設については市役所などの行政機能をはじめ病院などの医療機能、商業施設や金融機関などを想定している。区域は君津駅から市役所周辺のエリアを想定しており、国の補助金などの活用や民間活力を導入しながら施設の導入を図っていく。

君津インターチェンジ周辺の開発に向けて

Q 新たな産業の受皿づくりに取り組んでいるが、その具体的な内容について伺う。

A 本年4月に周辺の土地利用に係る庁内プロジェクトチームを発足して、事例調査や意見交換、また外部委託業者の力も借りながらニーズ調査を進めている。

Q 様々な取組を進めて、今年度はどの程度成果を予定しているのか伺う。

A 委託の調査や内部の検討の結果、複数の案を選定し、君津インターチェンジの将来の姿を示したい。

教育環境整備

Q 周西小学校は、過去にトイレの改修を実施したが、進学先である周西南中学校はトイレの大半が和式であって老朽化も進んでいる。少しでもきれいな学校で生活できるようにしてもらいたいと思うが、市の見解を伺う。

A 現在、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用し小中学校のトイレの洋式化に着手している。周西南中学校は、12か所の和式トイレの洋式化を行い、割合にして20%以上上昇する見込みである。

委員会の焦点

各常任委員会では、付託された議案及び陳情をそれぞれ審査しました。主な議案の審査概要は、次のとおりです。

※議案名は、議案等の審議結果(4ページ)を参照してください。

総務常任委員会

審査案件 (議案第1号、議案第12号)

◆議案第1号

職員の育児休業等に関する条例の改正

(内容) 非常勤職員の育児休業の取得要件の緩和等を行うもので、子の出生後8週間以内に育児休業を取得する場合、非常勤職員の任期は子が1歳6カ月に達する日まで必要としていたものを、子の出生日から8週間と6カ月を経過する日までに短縮するもの。また、非常勤職員の子が、1歳以降の育児休業を取得する場合、現行では、取得開始日が、1歳到達時又は、1歳6カ月到達時に限定されていたものを、配偶者が育児休業中であればその期間内の希望する日から取得可能とするなど、条例の一部を改正しようとするもの。

問 育児休業の取得率について伺う。

答 今年度の取得率は、取得予定者を含め、令和4年9月1日時点で、女性職員は100%、男性職員は44.4%である。(全会一致で可決すべきものと決定)



教育福祉常任委員会

審査案件 (議案第2号、議案第12号、議案第13号)

◆議案第2号

君津市保育園の設置及び管理に関する条例の改正

(内容) 君津市立内箕輪保育園及び君津市立南子安保育園を民営化することに伴い、公立保育園としての運営について、令和5年3月31日をもって廃止するもの。

問 今後、保育園を運営する法人の特色について伺う。

答 内箕輪保育園を運営する社会福祉法人どんごこ会は、インクルーシブ保育や子ども達の年齢・発達にかかわらず、一緒に生活する異年齢保育を行っており、また、南子安保育園を運営する社会福祉法人調和の森は、印西市を拠点として保育事業を行っており、外部講師を招き、英語教育などを行っている。

(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第12号 (補正予算)

保健福祉センター管理運営事業

問 保健福祉センターふれあい館の老朽化と修繕の計画について伺う。

答 竣工から23年が経過し、大規模な改修が必要になってくると考えており、個別施

設計画において、第一期に改修を予定しているため、庁内関係各課と協議しながら進めていきたい。

意見 同施設は福祉避難所となっているため、雨漏り等の施設の老朽化に対し、早急に対応をされたい。

(全会一致で可決すべきものと決定)



ふれあい館

建設経済常任委員会

審査案件 (議案第3号から議案第12号、陳情第7号、陳情第8号)

◆議案第3号から議案第11号

市道の認定

(内容) 宅地開発行為により整備された上湯江地先の区域内道路5路線及び八重原地先の区域内道路4路線について、開発行為の完了に伴い、開発事業者から帰属を受けたいもので、それぞれ、新たに市道として認定しようとするもの。

(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第12号 (補正予算)

農業委員会による情報収集等業務効率化支援事業

問 事業概要及びタブレット端末の活用方法について伺う。

答 農業者の高齢化、担い手不足などが問題となっていることから、農地の集積・集約化を図ろうとするもので、タブレット端末の具体的な活用方法については、あらかじめ農地台帳・地図等の情報が入っている端末を現地に持参し、それを基に、実際の農地の状況等を調査・記録していくものである。また、端末にはオンライン会議システムも入っており、タブレットによる会議等も行うことができる。

(全会一致で可決すべきものと決定)

◆陳情第7号

ナラ枯れ病防除策の推進を求める陳情書

(動議) ナラ枯れ病の原因究明、予防策の実施など、拡大するナラ枯れ被害を防止するため、また、市民や家屋に危険が及ぶ可能性のある被害木を増やさないためにも、行政がさらなる対策を講じていかなければいけないという趣旨については理解できるが、個人所有地における被害木の伐採・撤去の方法、また、補助金制度の創設ということを考えて、森林環境譲与税の活用も視野に入れた中での財源確保や補助対象の選定など、今後も先進地の調査研究や情報収集に努めながら、検討していく必要があると考えることから、趣旨採択としたい。

(全会一致で趣旨採択すべきものと決定)

※議案第12号の内容については3ページを参照して下さい。

成果を検証し、 次年度予算へ反映

9月6日の本会議において委員10名からなる決算審査特別委員会が設置され、9月13日、14日、15日の3日間にわたり、令和3年度君津市一般会計決算をはじめとする各会計決算の認定議案6件の審査を行いました。

慎重審査の結果、認定第1号から認定第6号までのすべての認定案件が、それぞれ原案のとおり認定すべきものと決定しました。

委員会における主な質疑等、審査の概要については、次のとおりです。



高橋 明 委員長

決算審査 特別委員会の概要

認定第1号 一般会計

問 自治体間交流推進事業に関し、白岡市で行ったジビエ料理の試作材料の提供について伺う。

答 白岡市内の飲食店7店舗において、ジビエの食材が様々なメニューに活用され、ジビエ料理を食された方には概ね好評で、調理人からは、肉の品質も高いと好評であった。

意見 他の自治体にも積極的に情報発信を行い、本市のジビエをさらに広めていただくことを期待する。

問 防犯ボックス運営事業に関し、犯罪件数の削減効果と今後の運営方針について伺う。

答 南子安及び北子安における犯罪認知件数は、防犯ボックス設置前の平成29年は101件であったものが、令和3年は47件に

減少した。また、今後の運営については、令和4年度をもって県補助金が終了することを踏まえて、自治会長、防犯協会及び関係機関と協議し、方向性を決めていきたい。

意見 犯罪抑制に効果が期待できることから引き続き取り組まれたい。



防犯ボックス

問 生活困窮者等自立相談支援事業の決算額増加の要因について伺う。

答 令和3年度から、新たに就労準備支援事業、家計改善支援事業、アウトリーチ事業等を開始したことや、住居確保給付金事業において、給付実績が増加したことによるもの。

問 市立保育園等ICTシステム導入事業に関し、導入の効果について伺う。

答 欠席の連絡や園からのお知らせの確認がスマートフォン上で行えるなど、事務の効率化、利便性の向上に効果があり、アンケート調査では、職員の6割以上、保護者の8割以上から利便性が向上したという回答をいただいた。

問 空家等対策推進事業に関し、略式代執行を行った経緯について伺う。

答 当該物件は、家屋の半分以上が腐朽状態である等の理由から、令和2年度に特定空家に指定されており、相続放棄により、所有者が特定できなかったため略式代執行により除却を行ったもの。

問 君津版ハローワーク管理運営事業の成果について伺う。

答 令和3年度に採用に至った件数は69件であり、相談件数に対して採用となった割合は約5%であった。相談者については、高齢の方が多く、企業の募集要件と合致しないケースもあったことから、今後も、新聞折込みの求人情報等の活用や求人条件の折衝等を行い、就業につながるよう努めていきたい。



きみジョブ

問 市民農園整備運営事業に関し、利用率及び今後の取組について伺う。

答 令和3年10月から新たに1法人が参入し、市内全体の区画数は336区画、全体の利用率はおよそ50%となっている。今後も、貸し手と利用希望者のマッチングの支援を行い、農地の有効活用につながるよう取り組んでいきたい。



【決算審査特別委員名簿】

委員長＝高橋 明 副委員長＝野上慎治
委員＝鈴木高大、宇野晋平、村上幸人、高橋健治、石上 壘、松本裕次郎、橋本礼子、下田剣吾

問 郡ダム湖面活用推進事業の今後の事業展開について伺う。

答 令和3年度は水上スキー大会を開催し、そこで、本市の特産品の提供やPRを行うなど、地域活性化につながる契機となったものと考えている。令和4年度は、9月から実証実験を開始しており、選手の練習場としての利用、また、水上スキー教室や大会の開催など、引き続き、水上スキー競技への活用を図っていく予定である。

問 交通安全施設整備事業に関し、安全対策の進捗よく状況について伺う。

答 警察や千葉県、教育委員会などの関係機関と連携して、通学路等の緊急合同点検を実施した結果、40か所において安全対策を講じる必要があったことから、令和3年度は、交差点におけるポール設置など20か所で対策を行ったものである。令和4年度は、16か所で路側帯のカラー舗装や防護柵の設置などの対策を行うとともに、残りの4か所については、用地買収等が必要であることから、現在、現地の測量等を進めているところである。

問 中古住宅取得補助事業の受付終了後の相談対応について伺う。

答 受付終了後も46件の相談があり、そのほとんどが、中古住宅の購入・移住を検討している方からの問合せであった。また、申請に係る相談については、次年度の案内を行ったところである。

意見 当該事業は、定住人口の増加につながる、ニーズも高いことから、補正予算を組むなど、拡大して実施することがふさわしい事業ではなかったかと考える。また、新築に対する支援についても費用対効果を十分検証した上で、検討されたい。

問 常備消防費に関し、コロナ禍における出動体制について伺う。

答 出動する救急隊員の感染防止対策として、発熱事案の場合は、感染防止衣、マスク、ゴーグルを装着のうえ出動し、コロナウイルス陽性者の搬送については、陽圧・陰圧装置付き専用搬送器具を使用している。

また、コロナウイルス感染症に係る搬送は増加しているが、全体の出動件数はコロナ禍前と比べて横ばいであり、通常通りの体制で対応できている。

問 屋内運動場LED照明改修事業の進捗よく状況について伺う。

答 中学校では、全ての屋内運動場において、LED化が完了し、小学校では、残り4校である。



屋内運動場

国民健康保険特別会計

認定第2号

問 小櫃診療所の収支が黒字となった要因について伺う。

答 患者数の増加のほか、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種などの協力金や、

集団接種参加委託料の収入があったことが要因の一つであると考えている。

聖地公園事業特別会計

認定第3号

問 販売の目標と実績について伺う。

答 令和3年度は、当初予算の39基の見込みに対し、販売が54基であり、収入額においても、約670万円予算を上回っている。

問 維持管理が不要な墓地の整備について伺う。

答 近年では、墓石等を持たない方も増えていることから、合葬墓地も整備している。今後もニーズを的確に捉えた墓地整備に努めたい。

賛成討論

●認定第1号(一般会計)

国庫補助金を効果的に活用し、市民の暮らしや地域経済の立て直しが図られたものと理解する。キャッシュレス決済を通じた消費喚起事業については、市民の利便性も高まり参加店舗の活性化にもつながるものであり、今後の事業展開に期待するものである。また、平成28年に議会が導入について政策提言を行った健康マイレージ事業に関し、参加者も増加しており、一定の効果があったものと理解する。



●認定第3号(聖地公園事業特別会計)

安定した事業運営のため、多様化する利用者のニーズに応えながら、販売促進に取り組まれたものであると理解する。

●認定第5号(介護保険特別会計)

ひとり暮らしの高齢者等が増加する中、新たな地域包括支援センターの開設に向けた準備など、住み慣れた地域で安心して生活できるようにサービスの充実を努められたものと理解する。



議会基本条例に基づく

議員間討議を実施

君津市議会基本条例第15条第2項の規定に基づき議員間討議を行い、9月22日の本会議の委員長報告では、以下の事項について、委員会全会一致の意見として、市へ申し入れを行いました。

申し入れ事項

①市政発展に寄与する様々な施策において、当初予算額等を理由とし、年度内で事業を終了しているものや年度で事業を終了しているものが見受けられた。市民ニーズが高く、大きな効果が期待できる事業については、事業の拡大も視野に入れながら、継続して実施できるように予算確保に努めていただきたい。

②本市の喫緊の課題である公共施設の老朽化対策において、既存施設に危険個所が多く存在している現状があることから、個別施設計画に基づき、施設の更新に努めるとともに、緊急を要する施設については、現状に応じた迅速な対応に努めていただきたい。

行政視察で本市を訪問

以下の3議会が調査のため本市を訪れました。事業の説明が終わると、多くの質疑があり、活発な意見交換が行われました。

- 9月29日 ^{やすぎ} 島根県安来市議会
ドローンを活用した橋梁点検実証実験について
- 10月4日 愛知県犬山市議会
保育園の民設民営化の取組について
- 10月20日 千葉県白井市議会
コミュニティバス事業について
デマンドバスについて



安来市



犬山市



白井市

市制施行50周年記念事業 「名水サミット in きみつ」に 出席しました

9月24日、水質環境の保全啓発を目的とした「名水サミット」が開催され、三浦章議長ほか市議会議員が出席しました。シンポジウムでは「水と共鳴する伝統の技」を全体テーマに、講演やパネルディスカッションが行われ、久留里の地下水と伝統技術や特産品のつながりについて理解を深める機会となりました。



第1回 君津市脱炭素シンポジウム に出席しました

10月8日、2050年カーボンニュートラルの達成に向け、講演や協力企業による脱炭素に関連する展示などのイベントが開催され、三浦章議長ほか市議会議員が出席しました。講演では、近年の顕著な災害と気候変動との関連や災害に備えた防災知識等について学びました。



議会本会議を配信しています！

本会議のライブ配信・録画配信を行っています。また、本会議の翌日(土日祝日を除く)に速報版として無編集の録画映像を見ることができます。ぜひご視聴ください。

配信内容 定例会及び臨時会の本会議

注意 速報版は無編集の映像となっています。本会議後おおむね7日以内に議事日程や一般質問の議員ごとに編集した映像への切り替えを行います。

配信内容は公式記録ではありません。視聴の際は、配信ページ内の注意事項を必ず確認してください。

アクセス方法 ①君津市議会ホームページの左下にある「インターネット中継」をクリック

②左側に「本会議ライブ配信」「本会議録画配信」等のメニューが表示されますので、視聴したいページを選択し、ご視聴ください。

☆スマホ・タブレットからもご視聴いただけます。通信費は利用者の負担になります。



議会配信はこちらから

令和4年 第4回定例会 11月29日(火) 開会予定です



きみつ市議会だより編集委員

- 委員長 / 奈良輪 政五
- 副委員長 / 須永 和良
- 委員 / 佐藤 葉子 石上 壘 小倉 靖幸

- 発行 / 令和4年11月1日
- 編集 / きみつ市議会だより編集委員会
〒299-1192 君津市久保2-13-1 君津市議会事務局
- TEL 0439-56-1497
- URL <https://www.city.kimitsu.lg.jp/site/gikai/>